

アザメ新聞は相知町佐里下地区で行われている自然再生事業の進展をお伝えする新聞です。この事業は住民参加の事業で、どなたでも検討会に参加できます。Vol.13ではアザメ出立式、第20回検討会、アザメの瀬公募研究の内容をお伝えしました。Vol.14では第21, 22回検討会をお伝えします。

第21回検討会開催！H15.8.5 子供達と共に！！

第21回検討会は子供達を集めての検討会となりました。この日のために前々日の8月3日(日)にアザメの会の方と子供達と一緒に、伝統漁法である“はえ縄”の仕掛けを造ったり、川で安全に楽しく遊べるようにと川辺の除草やロープを川面に張ったりと汗だくになりながら準備しました。



一緒になってはえ縄を造る(延長10m×針25本)



完成した仕掛け 2基



さて当日、仕掛けていた“はえ縄”“カニ網”をあげてみるとウナギがかかってたり、スカだったり一喜一憂しながらも大盛況！！その後、事業地内が乾燥してしまうのを少しでも緩和するため、ため池側からの水を引き込む**導水式**も行いました。

その後は・・・子供達が服を着たまま川に飛び込んだり、アザメの瀬に底泥にはめかたりと大はしゃぎ！！大人は大人で島谷所長自ら魚捕りにいそしんだり夕方までアザメで過ごしました。さて、夕暮れ時、今日の体験を踏まえて子供達を集めて『こんなアザメの瀬だったらいい』といったテーマでお話をしてみました。すると「**いろんな生き物と触れあえる場所がいい**」「**たくさん魚が捕れるところ**」「**みんなと仲良く遊べるところ**」「**いつでも遊べる場所**」「**魚釣りができるところ**」「**釣り竿と餌がおいてあったらいい**」など純粋な意見が飛び交いました。

子供は子供で・・・



「アザメの会」による現地説明



大人は大人で・・・

ほとんどの意見が“**楽しいアザメの瀬**”“**人と触れ合えるアザメの瀬**”“**魚がたくさん棲めるアザメの瀬**”に集約できるものでした。望まれるアザメの瀬にできるよう、武雄河川事務所は邁進していきます。みなさんも検討会で自由に発言してください。みなさんの納得のいくものにしたいですから！

鯉、ウナギに興味津々



さて、話は変わりますが、この時皆さんの前で説明していた人は、アザメの検討会で説明するのが初めてのため、最初から最後まで緊張してドキドキしていたらしく、人前で話すことの難しさを痛感したとのことでした。

事業地に導いた水



いろんな意見をいただきました



今回は以下の内容について議論しました。
公募研究者の近況報告
プレハブ内にどんな備品を置くか？
下流側の残地部の整備
今年度の工事内容(右の平面図を参照)の
 各々について議論しました。

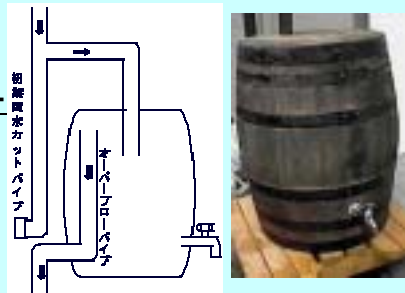


公募研究近況報告

和歌山大学：上流から流れ着いた柳の枝が発根。オオカナダモ・ホソバミズヒキモが水路内に定着。(8/20～22調査)
日本大学：CVM調査で問題発生！(詳細は下欄)
大阪府立大学：アザメの瀬現地で生えている植物を採取。田圃でみられる植物が大半を占めている(7/24～27調査)
東京大学：246種の維管束植物〔花の咲く植物とシダ植物〕を確認。そのうち29種が外来種！！セイタカアワダチソウ・アメリカセンダングサ等の駆除を提言。昆虫調査では29種ものトンボ類を確認！！関東の1回の調査での確認数は10種程度だが、アザメでは2日間で上回る種を確認。(7/23～25調査)

下流部の未整備エリアには、将来を見据え、見学者用の駐車場の整備が必要不可欠との意見が多数でした。中には佐里上地区の方にも駐車場を造ってアザメの瀬橋を渡って訪れられるようにしてはとの意見も出ました。私も車をとめて湿地部まで歩いてきてもらえたらと思っています。

公募研究者の方々がデータ整理するのに机・いす、見学に来る人に渡せるパンフレット、調査に必要な器材(投網や水槽等、ゴムボート)は必要ではとの話でした。これらに対応出来るものから調達していく予定です。また、雨水を貯めてそれを利用して汚れた手足を簡易的に洗える“天水桶”もいるという意見もありました。



(天水桶ってこんな感じです)

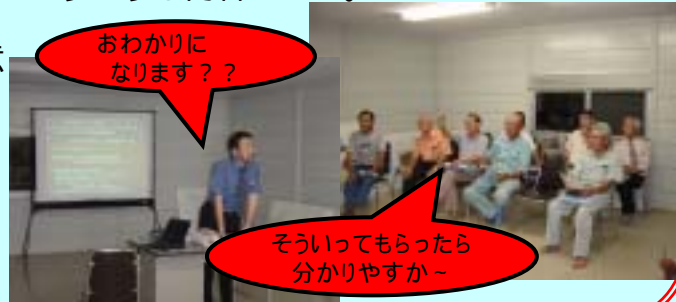
H15年度は町道の移設、松浦川右岸側の護岸を撤去、事業地内を湿地的な環境が維持できる高さまで掘り下げるといった工事を行いますと伝えました。次回の検討会時に各々詳細に議論することを確認しました。

CVM調査で事件勃発？！

公募研究で日本大学の櫻井先生が自然再生事業評価のために行っているCVM調査。調査すると地元の方からこんな意見が出ていました。『アンケートの主旨がわからん』『そんな質問すると自然再生事業に反対する人が出てくる』『もうアンケートはしなくていい』など……。このままでは調査を継続することが出来ないため、9月19日、急遽櫻井先生がアザメに来られて説明会を開くことになりました。反対した内容を聞いてみると、『賛成してるのに、何で25,000円払えますかって聞くんだ！また逆に隣の家が500円で聞くんだ！（払いたいけどそれは正直高すぎるから、反対だと受け取られかねない！！）』というような内容でした。

しかし先生のわかりやすい説明を聞くうちに誤解が解け、笑い話になったりと十分CVM調査の意義をみんなで勉強しました。今回のように最初に質問の主旨や内容を詳しく教えて欲しかったと思った人もいましたが、研究的には、詳しく教えすぎると研究にならないという話もあるようです。その辺の兼ね合いが今回の事件の発端でした。

まあ、誤解も解けましたし一件落着ですね！！



おわかりになります？？

そうしてもらったら分かりますか～

編集後記

これから本格的な2次造成の工事に入ります。普段よりダンプトラックが多く通るなど、多少なりともご迷惑をかけることになるかもしれませんが、御協力の程よろしく願います。